

北海道環境基本計画 [第3次計画] の論点について【①構成】

1 次期計画の構成（案）

現行計画の主な構成	次期計画の主な構成（案）	見直しのポイント
<p>第1章 総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画の位置付け ○計画期間 ○社会経済や環境等の状況 ○将来像（長期目標） <p>第2章 施策の展開 （施策の基本的事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分野別施策の展開¹ <ul style="list-style-type: none"> ・めざす姿 （計画期間の終期） ・現状と課題 ・分野別目標 ・指標群 ・各主体の取組方向 ・道の施策 ○重点的に取り組む事項² <p>第3章 計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道民の意見の反映 ○点検・評価の実施 	<p>第1章 総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画の位置付け ○計画期間 ○社会経済や環境等の状況 ○課題認識 ○将来像（長期目標） <p>第2章 施策の展開 （施策の基本的事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○<u>環境・経済・社会の統合的 向上に向けた考え方</u> ○<u>分野横断の取組</u> ○分野別施策の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・めざす姿 （<u>将来像の再掲</u>） ・現状分析 ・課題認識 ・<u>施策の基本的な方向性</u> ・指標群 ・各主体の取組方向 ・道の施策 <p>第3章 計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道民の意見の反映 ○点検・評価の実施 	<p>見直しのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ←課題認識を記述。 ←現行計画は「21世紀半ば」。次期計画は「21世紀後半」。（資料3参照） ←環境・経済・社会の統合的向上に向けた考え方を項目立て。 ←分野横断の取組を項目立て。 ←短期間にめざす姿ではなく、将来像を分野ごとに整理し、再掲。 ←課題認識を記述。 ←目標ではなく、将来像に向けた基本的な方向性を記載。 ←重点的に取り組む事項は、分野横断の取組又は分野別施策の中で提示。

¹ 分野別の施策の展開（現行計画 p. 13～14）

- ・分野ごとにまず5年後のあるべき姿としての「めざす姿」を掲げる。
- ・全体の施策体系は、将来像の実現のため、「安全・安心社会」を確保した上で、「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」を統合的に達成。→これら4分野と「各分野に共通する施策」の5つに整理。
- ・具体的な施策の推進：4分野に対応した個別計画と連携して推進

² 「重点的に取り組む事項」（現行計画 p. 55）

- ・5年間に特に重点的に取り組むことが必要な事項。
- ・緊急性、独自性、総合性の視点から、優先度が高い取組を再構築して掲載。
- ・現計画では、「野生生物と共生する社会づくり」、「地域の資源を活用した持続可能な地域社会の形成」、「豊かな自然の次代への継承」。

<現行計画からの変更点>

①「課題認識」を記述

環境・経済・社会の状況を踏まえた課題認識についても、記述が必要ではないか。

②「環境・経済・社会の統合的向上に向けた考え方」を「施策の基本的事項」に新設

国の第5次環境基本計画においては、今後の環境政策の展開の基本的考え方として、「環境・経済・社会の統合的向上が強く求められている」、「SDGsの考え方も活用し、環境・経済・社会の統合的向上の具体化を進めることが重要である」としている³。これを踏まえ、「環境・経済・社会の統合的向上」と、その具体化に向けた取組として国が重点戦略に示している「地域循環共生圏」の創造について、本計画においても考え方を示してはどうか。

③「分野横断の取組」を「施策の基本的事項」に新設

経済システムのグリーン化⁴（ESG投資等）や環境に配慮した人づくりなど「分野横断の取組」については、分野別施策とは別に項目を設定してはどうか。

④「重点的に取り組む事項」は、分野横断の取組又は分野別施策の中で提示

施策のメリハリや重要性のわかりやすさの観点からも、「重点的に取り組む事項」は引き続き必要と考えるが、現行計画のように再構築して再掲するよりは、分野横断の取組又は分野別施策の中で示すことで、位置づけがわかりやすくなり、進捗管理も効率化すると考えられる。

⑤分野別の「めざす姿」は、基本計画全体の将来像（長期目標）を再掲

現行計画の分野別の施策に示す「めざす姿」は、5年～10年後の計画終期の「めざす姿」を描いているが、将来像（長期目標）とオーバーラップするものも多いため、次期計画では、分野別の「めざす姿」は、基本計画全体の将来像（長期目標）と同時期とし、基本計画全体の将来像（長期目標）を分野ごとに切り分けて整理し、再掲してはどうか。

⑥分野別の「目標」は、「基本的な方向性」として提示

現行計画の分野別目標は、どちらかといえば施策の基本的な方向性を示しており、次期計画では、「目標」という言い方ではなく、将来像（長期目標）の実現に向けた施策の「基本的な方向性」として示すこととしてはどうか。

また、数値目標については、各個別計画に委ねることとし、本基本計画では、上述の「基本的な方向性」を示すにとどめるべきではないか。（本基本計画策定時点での各個別計画の数値目標は、参考として掲載することを想定。）

なお、施策の進捗状況を点検・評価するための指標群は、現行計画と同様に設定すべきではないか。

³ 第5次環境基本計画 p.10～11（今後の環境政策の展開の基本的考え方）

⁴ 第5次環境基本計画 p.22